

地域支援センターSHIPです！

地域支援センターSHIPは、麻生養護学校の「相談・地域連携担当(教育相談コーディネーター、自立活動教諭)」「移行支援担当」の教員で構成されています。SHIP通信は、主に『地域支援センターSHIP』の事業に関するお知らせを掲載しています。



特別支援学校の専門性を生かし、様々な事業を通して地域の子ども、保護者、先生方を支援します。子どもたちが安心して自分らしく、いきいきと過ごせるようサポートしていきます。

★「SHIP」の名称の由来★

笑顔(Smile)希望(Hope)関わり(Interaction)を、支援の必要な子どもたちへ(For People with special needs)という思いを込めています。子どもたちが自信をもって社会の大海原へ出て行くことができるように支援します。

相談・地域連携担当から



教育相談

校内の教育相談コーディネーターと自立活動教諭が窓口となり、子どもたちの教育的ニーズに応じて校内や地域の支援機関と連携した様々なサポートを行います。

《教育的ニーズとは》

子どもたちは、「授業が分からない」「みんなが自分のことを分かってくれない」等様々な悩みや課題を抱えるとともに、その解決に向けて自分自身の力で何とかしようと努力しています。このような子どもたち一人ひとりの持つ独自の課題が、その子どもの「教育的ニーズ」です。

学校教育では、こうした子どもたちの努力について、直接間接を問わず、その子どもたちに合った方法で働きかけをしていく必要があります。

令和3年3月 神奈川県総合教育センター発行

「支援を必要とする児童・生徒の教育のために～教育相談コーディネーターとチームづくり～」より抜粋

保護者相談

校内および地域の保護者の方の相談に応じます。必要に応じて支援機関の情報提供等も行います。

地域の学校への支援

子どもたちが主体性を持って活動に参加できるように、先生方と一緒に考えます。各校の教育相談コーディネーターの先生を通じて御連絡ください。



麻生養護学校

受付時間 9:00-16:30
(土日、祝日等はこのぞく)

電話番号: 044-980-4854

<令和4年度のメンバー>

- 教育相談コーディネーター みやざわ なおこ 宮澤 直子 ・ かねこ まいこ 金子 麻衣子
○自立活動教諭 【理学療法士】 もりた ちかこ 森田 千佳子 【作業療法士】 しばさき りつこ 芝崎 律子

【理学療法士とは？】

幼児・児童・生徒の姿勢・動作等の身体に関する支援を行います。

【作業療法士とは？】

幼児・児童・生徒の学習や生活、遊び等の様々な活動に関する支援を行います。

地域との連携・ネットワークづくり



学校と地域の連携窓口のひとつとして、福祉機関や医療機関と連携しています。また、次のような役割も担っています。

○公開講座・研修会の実施

教職員、保護者、関係機関職員を対象に、特別支援教育に関する研修会を実施しています。

※今年度の実施につきましては、決定次第、学校HPや配付チラシ等でお知らせします。

○協議会等への参加

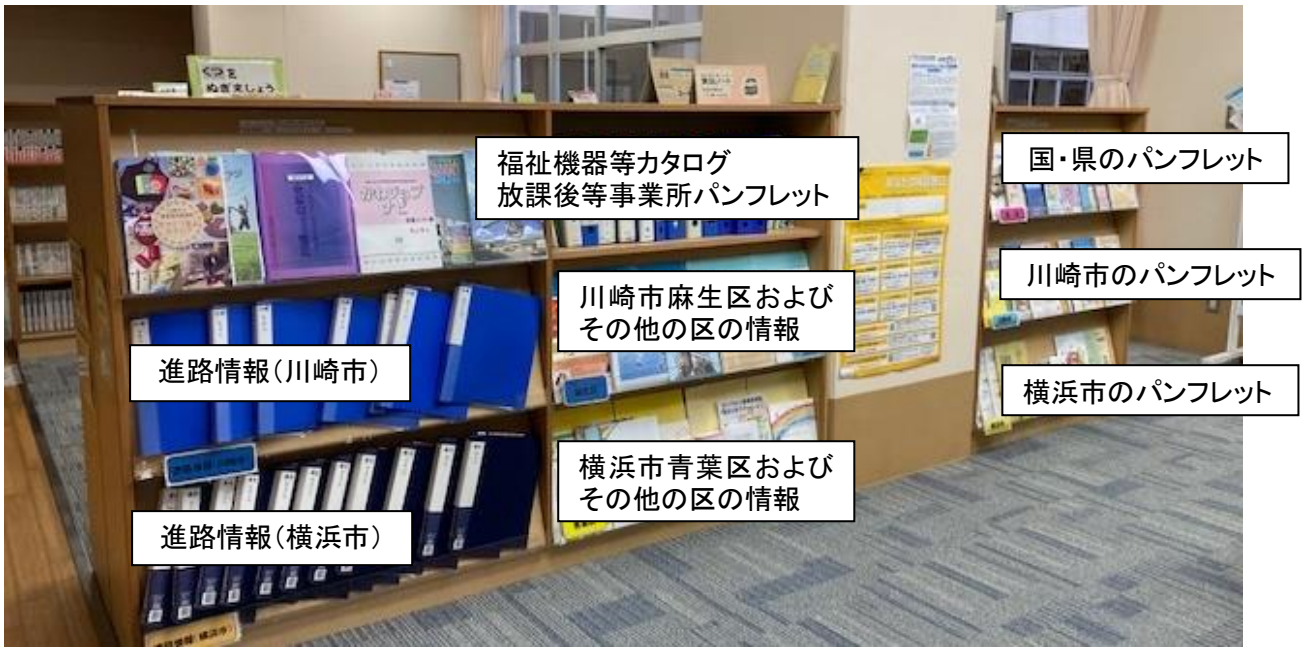
自立支援協議会等、地域の協議会や連絡会に参加して関係機関との連携やネットワークづくりをしています。

情報コーナーの紹介

本校1階昇降口前の図書コーナーに、福祉事業所のパンフレットや地域の広報誌を置いています。奥の壁側にある掲示板とラックは、特別支援教育に関する研修会やイベント等のお知らせ・チラシを掲示しています。



コロナ禍のため校内にお越しいただく機会が限られる中ですが、お越しの際にはぜひ御覧ください。次頁に情報コーナーのレイアウト写真を掲載しました。



情報コーナー(本校1階昇降口前)



移行支援(進路)担当から

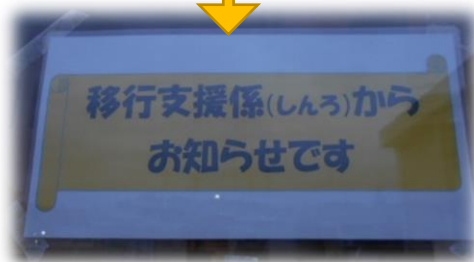
昨年度同様、令和4年度も本校は堀井水香、大野裕、湊史友子の3名が移行支援担当となります。分教室は、大橋峻一と、鈴木匠が担当します。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

麻生養護学校には、川崎市在住の方と横浜市在住の方が在籍していますので、それぞれの行政の状況や情報を丁寧に伝えることを心がけています。生徒本人の実態に合わせた進路選択ができるよう、施設や企業の採用担当者や区役所のケースワーカーなどと連携し、保護者、担任と相談して進めていきます。

現在感染症拡大防止対策として、保護者の方が自由に校内に入ることが難しくなっておりますが、施設から体験会や学習会などのお知らせが届きましたら、1階昇降口のガラスドアに掲示します。送迎の時や、進路説明会など、学校に来る機会がありましたら、是非チェックしていただければと思います。



1階昇降口の真ん中辺り



令和3年度の実習や施設見学の受け入れ状況について

「コロナで、見学や実習はできたのか」

「実習ができず、進路先を変更しなければならなかった人はいたのか」

など、進路選択や進路決定に際し、コロナの影響がなかったのかという不安の声が多く聞かれます。しかし、御安心ください。緊急事態宣言中や、学校や施設で体調不良者が出たことで、見学や実習が延期になったことは数回ありましたが、コロナが理由で実習ができなかったところはありませんでした。そのため、希望する施設での実習を経て、進路選択をすることができています。

見学に関しては、1回の受入れ人数が縮小傾向となっておりますが、少人数で受入れてくださったり、3年生の進路決定に影響する場合は個別見学で対応していただけたりしたので、希望された施設は、ほぼ見学をすることができました。1施設のみ、実際の見学はできず、ホームページの事業所紹介ビデオを見ていただければ、実習は受入れるという施設がありました。その施設も、今年は見学も受入れているので、今後も感染症拡大防止対策をしっかりと行いながら、見学の設定をしていきます。

進路に関して御質問等ありましたら、いつでも移行支援係にお問合せ下さい。